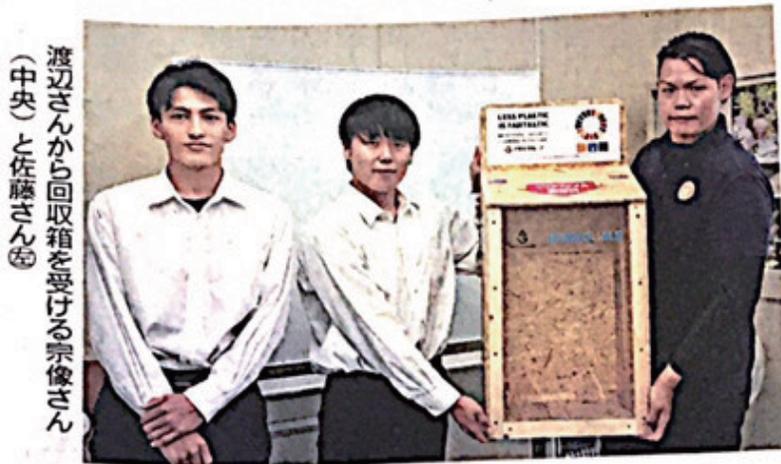


2020年9月7日(月)

福島民友



渡辺さんから回収箱を受ける宗像さん(中央)と佐藤さん

## クリアファイル再利用

### 運動推進のアポログループ

プラスチックごみの削減を目的にクリアファイルの再利用運動を展開するアポログループ(福島市)は3日、事業に協力するあさか開成高(郡山市)にファイルの回収箱を贈った。集めたファイルと同グループが買い取り、同校は資金を日本ユニセフ協会に寄せる。同グループは、学校や学

プラスチック  
**危機**

## あさか開成高に回収箱

習施設で集めたクリアファイルを1枚5円で買い取り、教育活動に役立ててもらう事業に取り組んでいく。協力を募り、これまで同校を含め県内の小学校と高校計3校に回収箱を設置した。集めたファイルには手作りの「リユースシール」を貼り、同グループや賛同企業の社員らが再利用している。資金の使い道は各校に任される。同校は持続可能

な開発目標(SDGs)に関する活動の一環として、同協会への寄託を決めた。今後、宗像由生さんと佐藤孝哉さん(いずれも3年)が中心となり、新聞を作り、校内放送するなど生徒に協力を求めていく。アポロガス経営企画担当の渡辺直人さんが同校を訪れ、宗像さんと佐藤さんに回収箱を手渡した。生徒2人は「SDGsや、世界と日本の教育環境について理解を深めてもらえるよう、新聞や放送で呼び掛けていきたい」と話した。